

梅雨は稲の育つ季節、樹木には恵みの季節です。

ジメジメとした日が続きますが、体調管理には気を付けましょう。

デイサービス八重桜本店

【お父さんありがとう〜父の日】

その昔、企業戦士で頑張つてこられた男性の利用者さまも今は自分の時間を謳歌されていると思われれます。今日はそんな皆さまのことを我が父と思われ職員一同が「父の日」を喜んでいただきたいと思います。束の間ですがお祝いをさせていただきます。まずは父の日に関するクイズを出題、これまた父の日にも色々な意味があることを知り、皆さま一緒に「ほっ」と感じる場面もありました。母の日同様、男性のご利用者さまにもプレゼントをお配り致しました。孫の手にゴルフボールがくっついた肩たたきや、マイバッグをご用意し、どちらかをご利用者さまに選んでいただくというものです。意外や意外、マイバッグを選ばれるご利用者さまにちょっぴり驚き!!はにかみながらもプレゼントを手に喜んでくださるご利用者さまの笑顔を写真に収めさせていただきました。



【うちわで夏を先取りするぞ!!!】

この日は夏を先取りして、皆さまに「マイうちわ」を作成していただきました。まずは、職員から絵の描き方や段取りを説明させていただきました。その後うちわの骨組みと両面に貼り合わせる二枚の用紙をお配りし、マジックやシールをお渡ししていききました。最初は何を言いたらいいの?と困った顔で用紙とにらめっこされていたご利用者さまも、だんだん思い思いの絵を描き始められます。夏らしい絵柄やご自分の「座右の銘」を書かれる方、キラキラシールやマスキングテープをふんだんに使用したとても可愛らしい出来栄えに職員も思わず声をあげてしまうほどステキなうちわが沢山出来ました。出来上がった作品は、すぐその日のうちにフロアに飾らせていただきました。皆さま熱の入ったレクリエーションとなりました。



買物困難者

西 勝康

そもそも買物困難者とは
自宅から五百メートル圏内に
食料品店がない
自動車の運転ができない
六五才以上である
という人のことだそうです。

桜の広場

外出頻度の減少は運動量の低下にもつながり、しいては歩行能力も危うくなりま

て、生活に必要な食料品や日用品の調達が増えています。農水省の調査結果によりますと、二〇〇五年の調査開始時点では、困難者の推計値は六七八万人でしたが二〇一五年には八二四万人になっています。今後その数の増加は加速すると考えて間違いありません。

この問題の解決策として有望なのが買物代行サービスです。週二〜三回高齢者から注文を受けて買い回り自宅へ宅配するサービスです。買物代行そのものを業とするところやスーパーが宅配サービスに参加したり、タクシー会社が参入したりと、その輪は広がりを見せています。更にはご利用者さまに同行するサービスも同様です。どちらも今後注目の事業だと思

買物困難者への対策を必要としている市町村の数は二〇一九年度

デイサービス八重桜 朱雀

【お父さんに感謝の日】



父の日、お父さんへ感謝の気持ちを込めて、本日はお父さん大感謝祭を開催しました。男性の利用者さまにプレゼントとして靴下をお配りして、普段からの感謝の気持ちを伝えさせていただきました。朱雀のお父さん達は「地震、雷、火事、おやじ」と怖がられる存在感ですが、笑って優しいですよ。「父の日に子供さんから何をもらいましたか?」「父の日の思い出は?」「父の日にももらったプレゼントで一番嬉しかったものは?」「小さい頃、自分の父に何をあげましたか?」「父の日は、そもそもあったのか?」など色々な質問をさせていただきました。皆さま、沢山の思い出と色々な経緯話を語ってくださいました。これからもいつまでも元気でいてくださいな。

【書道に自信があります、如何ですか?】

近年、パソコンやスマートフォンなどの急速な普及により、直筆で字を書く機会が減りました。それでも大切な書類への署名や冠婚葬祭など、大切な場面ほど手書きのレクリエーションの一つです。朱雀館には「師範」クラスじゃないのかな?と思わせる方が多数いらっしゃいます。あと、とても個性的な文字の書き方も多数いらっしゃいます。個人的には、個性的な文字がとても好きで印象に残りやすいですね。そして、恒例の書道後の手についた墨取りです。洗面所がいっぱいになるのは、愛敬です。でも皆さまが満足感でいっぱいです。片付けまで楽しんでくださり、「ぜひ、次もしましょうね」とその場の全員が思っしクリエイションになりました。



デイサービス八重桜 押熊

【父の日】



母の日に比べるとどうしても忘れられがちな父の日。日頃の感謝を込めてプレゼントをさせていただきます。

一般のアンケートでは、父の日のプレゼントで一番多いのはネクタイです。ネクタイ、ワイシャツ、その他の衣類を合わせると50%以上の方が送られています。やはり仕事に使えるアイテムをチョイスされているようです。次にお酒や食事などが続き、一緒に過ごす時間をプレゼントされているという回答もありました。

押熊館の今年のプレゼントの中心は靴下です。ご夫婦で入居されているご利用者さまの奥さまが、ご主人に「丁度いいものを貰ったね。お父さん明日から使ってね。」というお言葉。おやつには、水羊羹やホットケーキをいただきました。

【ハエたたきでゲームでポン】

気温が高くなり、虫が始めてきました。職員の中には既にやぶ蚊にさされてしまった人がいて、これからの夏の虫は、かなわないなあという話題になりました。

今回のゲームはハエたたきゲームです。プラスチックのハエたたきの先に、マジックテープを取り付けます。虫たちにもマジックテープを貼りつけます。セミ、クワガタムシ、蛭、トンボ、大きな蟻やオバケの一本傘、オバケの提灯もあります。さらに、カエルや蛇までも。

誰が上手に採れるかな。物静かなお母さんもお父さんも普段は、あまり動かさない手がハエたたきの棒を持った途端に、気合が入って、「エイ!ヤー」と掛け声も勇ましく、和気あいあいとゲームを楽しんでいました。



デイサービス八重桜 平城

「庭園の花々に囲まれて父の日」

今年の父の日は、心地良い初夏の日和を満喫していたために屋外でのイベントとなりました。そよ風も爽やかな中庭にお父さん達が勢ぞろいです。介護スタッフ達が語る「私のお父さん」の思い出から、厳しい中にも優しい笑顔、仕事で忙しくても家族への思いやりを忘れなかったお父さん…など、様々な「お父さん」の姿が甦ります。「平城のお父さん達」お一人お一人に、スタッフが感謝を込めてプレゼントをお渡しすると、女性の皆さまからの拍手が響き渡ります。中庭の綺麗に咲いた花々をバックにした記念撮影の後は、チャイナドレスを着て「李香蘭」に扮した男性職員が歌う懐メロに、笑い声や歌い声が溢れます。嬉しいやら、照れ臭いやら、可らしいやらで、ほころぶ「お父さん達」の笑顔には感動の涙も光っていました。



「ピラミッド崩しゲームに挑戦」

「ピラミッド崩し」で午後のひとときを楽しんでいただきました。ピラミッドの形に高く積み上げたプラスチック容器を、ボールでどれだけ多く崩せるかを競うゲームです。容器を隙間なくしっかりと並べて積み重ねているので、ボールを投げて簡単に壊れず、真ん中あたりの容器一つだけがスッポリ抜けて、ピラミッド自体は崩れずにそのままの形を残しているという「現象」もありました。「なかなか頑丈だね」との声が飛び交う中、アイシヨットが決まれば、まわりの皆さまが拍手喝采。繰り返すうちに、強過ぎず弱過ぎず、適所に「的」を絞るコツがわかり調子が出て来ます。崩れたピラミッドは、皆さまと一緒に阿吽の呼吸と集中力で素早く修復し、次の方にバトンタッチです。修復もアイシヨットも協調と集中力の賜物ですね。



デイサービス八重桜 西奈良

「皆さまと一緒に楽しい父の日でした」

先月には母の日がありました。今月は父の日です！ただ、世間的には母の日がメインで、父の日はついでのような感覚で、お父さんは寂しいものです。西奈良館はそのイメージを覆すべく、父の日も力いっぱいイベントを開催しました。男性職員によるヒゲダンスからスタートして笑いを起こした後、副主任による「また逢う日まで」の歌唱。伸びのある力強い声に皆さま聞き惚れていました。その後は安定のウクレレ演奏で、職員とご利用者さまで大合唱。懐かしい歌を皆さまで歌って楽しみました。イベント終了後は男性ご利用者さまにプレゼント贈呈の時間。西奈良館からは孫の手をプレゼントしました！背中が痒い時は、この日の事を思い出しながら掻いていただきたいと思います。



「綺麗なちぎり絵が出来上がりました」

指先を使ったレクリエーションの一つに、ちぎり絵があります。高齢になると指先が思ったように動かないため、指先を使う作業を毛嫌いするご利用者さまもおられ、レクリエーションにお誘いするのに「苦労することもあります。そんな時は、職員と一緒に作っていただくので心配ない」とお伝えしてレクリエーションに参加してもらっています。

今回の作品は、季節的に梅雨と初夏をおもわせる傘やテルテル坊主や紫陽花等を用意し、お好きなものを選んでいただいて取り掛かりました。完成した作品はご利用者さまの性格も反映しているようで、貼り付ける紙の一枚一枚が大きく数枚貼り付けたら終わりの方がおられたり、一枚の紙が小さく色とりどり使われるご利用者さまもおられたりと作品を見る楽しさもありません。



「娘の成人式」

長南 沢子



世の中がコロナ禍で、様々な事が自粛や規制となりました。

今年一月、娘は成人式を迎えることを楽しみにしていました。半ば無理だろうと諦めていました。しかし、多くの自治体が厳戒態勢を取りながら安全に配慮して一生に一度の成人式を行ってくれました。

コロナ禍で開催する英断をしていたいただいた事に感謝した新成人たちも、密を避けて成人式からコロナ感染が広まらない様にしよう！と携帯電話で連絡をとり合っていました。

成人式当日、やはり振り袖姿の娘を見て目頭が熱くなりました。

成人を迎える本人たちも自分たちからコロナを広げない！と気をつけた甲斐あって、成人式からのコロナクラスターは起きませんでした。新成人皆が大人としての自覚を持った特別な成人式だったと誇らしく思いました。

何かと不自由も多い中、やるときはやる！若者たちが居る事に頼もしさを感じ、忘れられない日になりました。

道の遊歩

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし、

思想家 吉田 松陰

俳句教室発表句

(敬称を略します)

水鉄砲 昔は孫と 遊んだな

牧山 ツヤ子

夏は水遊びが楽しいですね

いつかまた 花火大会 行きたいな

福島 初子

大きな花火は身体で音を感じるので凄いですね

新緑に みなぎる力 スタッフの底力

土田 瑞枝

皆さまの笑顔とともに元気いっぱいのお客様です

朝顔や すがしき子等が 学び行く

大城 聖三

朝の通学時間帯の子ども達の元気いっぱいの姿が浮かびます

幼き日 スイカ畑で 遊んだ日

森岡 栄子

多分、スイカ畑でいたずらしながら遊んでいる面影が...

金魚を 狙う猫の目 光輝く

森岡 栄子

かわいい猫のキラッとした表現が上手く表現されていますね



八重の家通信 14 夏の庭

西 勝康

六月も下旬になり、八重の家の皆さまも、スタッフも一回目のコロナワクチン接種も済んで新型コロナウイルスに対する免疫獲得に一步進みました。心なしか皆さまの顔に生気が戻って来たように感じます。

そして季節の移ろいとともに庭の木々のこずえも生き生きと力強く緑をみなぎらせ光沢を帯びています。その傍らにはカサブランカが、桔梗が、ヒメイワダレソウが競うように咲いています。庭を造ってまる三年でしつかりと根付いてくれて安堵しているところでもあります。もともとこの地面は庭木には適していなかったのと、造園屋さん管理をお願していることが功を奏しているのだと思います。

この庭が少しでも入居者の皆さまの癒しになれば嬉しいと思います。



馳せ走る

食の匠

のひとりごと

蓴菜 別名ぬなわ

西 勝康

夏の前菜にはよく使われる食材です。一般には赤出し味噌汁に使われることの多いヌルリとした水草の新芽のことです。

日本料理では、夏になると酢の物仕立て小さなガラス食器で前菜の一品として梅肉を添えて供されることが多いです。夏の季語にもなっています。

「蓴(ぬなわ)採る 日がな己の 影の中(桑原晴子) 私は涼しげなギヤマンの小器の蓴菜を、前菜の八寸皿に盛り付けると夏が来たなあと感じていました。懐かしい記憶が思い出されます。